

Ⅳ 市民会館・公民館の状況

1. 市民会館・公民館施設概要

会館は多様な文化的活動に対応しつつ、教育機関としての機能も果たしていく施設として、昭和52年6月に開館した。

福生市民会館・公民館 福生市福生2455 電話 52-1711

敷地面積 4,937.07 m^2

建築延面積 6,771.25 m^2

鉄筋コンクリート 地下1階 地上3階建

職 員 12人

また、武蔵野台地区に昭和54年5月、熊川地区に昭和55年5月、社会教育活動の拠点として、地域の文化活動、また学習活動の場としての公民館分館が開館した。

(1) 松林分館 福生市武蔵野台1-15-1 電話 52-3624

敷地面積 1,104.98 m^2

建築延面積 5,643.0 m^2

鉄筋コンクリート 地上2階建

職 員 2人

(2) 白梅分館 福生市熊川559-1 電話 53-3454

敷地面積 2,158.03 m^2

建築延面積 5,705.9 m^2

鉄筋コンクリート 地上2階建

職 員 2人

2. 平成4年度 市民会館・公民館利用状況

施設名			月 別			4			5			6			7			8			9			10			11			12			5 年 1			2			3			合 計		
			有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数	有 料	減 免	総 数			
市 民 会 館	ホ ー ル	大 ホ ー ル	回 30	回 /	回 30	回 25	回 /	回 25	回 32	回 /	回 32	回 21	回 /	回 21	回 17	回 /	回 17	回 37	回 /	回 37	回 42	回 /	回 47	回 58	回 /	回 58	回 25	回 /	回 25	回 7	回 /	回 7	回 29	回 /	回 29	回 46	回 /	回 46	回 369	回 /	回 36			
		小 ホ ー ル	32	/	32	33	/	33	20	/	20	44	/	44	14	/	14	29	/	29	23	/	23	36	/	36	21	/	21	18	/	18	25	/	25	35	/	35	330	/	330			
		小 計	62	/	62	58	/	58	52	/	52	65	/	65	31	/	31	66	/	66	65	/	65	94	/	94	46	/	46	25	/	25	54	/	64	81	/	81	699	/	699			
	集 会 室 等	リハーサル室	8	6	14	18	11	29	4	22	26	13	6	19	8	1	9	1	33	34	16	13	29	11	33	44	8	5	13	3	8	11	6	13	19	12	6	18	108	157	265			
		第1集会室	8	30	38	15	32	47	15	39	54	3	44	47	12	26	38	7	42	49	8	43	51	11	42	53	7	24	31	12	27	39	13	32	45	23	26	49	134	407	541			
		第2集会室	13	35	48	18	39	57	13	44	57	4	55	59	6	31	37	3	51	54	11	50	61	14	46	60	13	33	46	7	36	43	10	41	51	11	43	54	123	504	627			
		第3集会室	4	42	46	5	49	54	3	57	60	3	53	56	3	36	39	2	56	58	8	51	59	2	53	55	3	36	39	5	43	48	7	50	57	5	52	57	50	578	628			
		第4集会室	7	42	49	4	43	47	7	47	54	4	46	50	4	34	38	12	43	55	3	57	60	3	61	64	3	45	48	3	37	40	3	44	47	7	45	52	60	544	604			
		第5集会室	6	32	38	3	31	34	6	40	46	3	37	40	5	43	48	1	47	48	0	58	58	3	57	60	3	43	46	0	43	43	3	48	51	2	48	50	35	527	562			
		第6集会室	17	24	41	14	35	49	9	38	47	4	38	42	2	36	38	6	52	58	10	47	57	5	51	56	5	32	37	8	38	46	4	43	47	3	41	44	87	475	562			
		第7集会室	16	23	39	9	35	44	8	38	46	4	39	43	2	29	31	5	51	56	9	46	55	5	49	54	5	28	33	5	35	40	5	42	47	2	39	41	75	454	529			
		第8集会室	10	14	24	27	11	38	22	13	35	14	18	32	14	13	27	14	20	34	27	20	47	11	27	38	5	14	19	29	13	42	23	18	41	14	17	31	210	198	408			
		展 示 室	11	0	11	0	0	0	3	9	12	0	3	3	0	0	0	0	4	4	0	23	23	0	9	9	0	0	0	0	9	9	0	69	69	0	0	0	14	126	140			
		小 計	100	248	348	113	286	399	90	347	437	52	339	391	56	249	305	51	399	450	92	408	500	65	428	493	52	260	312	72	289	361	74	400	474	79	317	396	896	3,970	4,866			
		計	162	248	410	171	286	457	142	347	489	117	339	456	87	249	336	117	399	516	157	408	565	159	428	589	98	260	358	97	289	386	128	400	528	160	317	477	1,595	3,970	5,565			
公 民 館	調 理 室	7	22	29	4	28	32	6	31	37	5	26	31	5	8	13	5	33	38	6	46	52	12	33	45	7	24	31	3	20	23	4	35	39	3	38	41	67	344	411				
	美 術 室	0	28	28	0	33	33	0	30	30	0	31	31	0	14	14	0	28	28	0	31	31	0	36	36	0	33	33	0	31	31	0	31	31	0	41	41	0	367	367				
	音 楽 室	0	36	36	0	33	33	1	31	32	0	27	27	0	19	19	3	32	35	1	38	39	2	36	38	1	36	37	0	28	28	0	36	36	0	43	43	8	395	403				
	視聴覚室	1	28	29	3	21	24	3	31	34	0	26	26	0	28	28	0	30	30	2	50	52	3	33	36	4	21	25	6	34	40	9	29	38	2	34	36	33	365	398				
	児 童 室	0	16	16	0	24	24	3	39	42	2	46	48	0	5	5	0	33	33	3	36	39	0	39	39	1	32	33	0	24	24	0	31	31	0	22	22	9	347	356				
	計	8	130	138	7	139	146	13	162	175	7	156	163	5	74	79	8	156	164	12	201	213	17	177	194	13	146	159	9	137	146	13	162	175	5	178	183	117	1,818	1,935				
合 計			170	378	548	178	425	603	155	509	664	124	495	619	92	323	415	125	555	680	169	609	778	176	605	781	111	406	517	106	426	532	141	562	703	165	495	660	1,712	5,788	7,500			

平成4年度 松林会館利用状況

月別 開館日数 部屋別	区分	4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		合 計	
		25日		25日		25日		27日		27日		23日		26日		24日		23日		23日		23日		25日		296日	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
大集会室	主催	9	84	9	93	9	92	9	104	11	115	5	64	12	638	4	40	7	104	7	100	11	110	6	125	99	1,669
	一般	35	684	35	682	36	734	40	681	30	565	37	651	33	702	28	624	30	635	31	591	28	549	37	756	400	7,854
小集会室	主催	3	12	4	24	6	38	6	46	4	40	8	81	15	649	7	110	12	160	7	122	14	216	8	176	94	1,674
	一般	32	436	44	562	40	547	40	376	22	299	31	400	36	479	29	343	25	381	24	279	20	226	32	435	375	4,763
和室	主催	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	156	4	16	0	0	0	0	0	0	0	0	10	172
	一般	51	659	51	645	50	520	54	791	38	370	37	441	44	513	38	452	36	405	32	404	41	423	45	503	517	6,126
学習室	主催	0	0	2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	6	936	4	52	0	0	5	28	9	87	11	92	37	1,207
	一般	23	154	25	253	29	275	32	307	23	183	28	199	28	355	18	201	21	202	18	180	22	198	22	212	289	2,719
保育室	主催	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	696	5	90	3	54	3	54	4	72	1	18	20	984
	一般	15	215	10	264	10	154	15	334	9	147	13	203	10	256	13	172	11	204	11	182	11	159	14	208	142	2,498
合計	主催	12	96	15	129	15	130	15	150	15	155	13	145	43	3,075	24	308	22	318	22	304	38	485	26	411	260	5,706
	一般	156	2,148	165	2,406	165	2,230	181	2,489	122	1,564	146	1,894	151	2,305	126	1,792	123	1,827	116	1,636	122	1,555	150	2,114	1,723	23,960
総 計		168	2,244	180	2,535	180	2,360	196	2,639	137	1,719	159	2,039	194	5,380	150	2,100	145	2,145	138	1,940	160	2,040	176	2,525	1,983	29,666
使用料	件数	件 9		件 10		件 8		件 10		件 8		件 8		件 10		件 6		件 3		件 7		件 8		件 6		件 93	
	金額	円 7,700		円 9,800		円 6,600		円 9,900		円 7,100		円 7,500		円 8,100		円 5,900		円 2,700		円 6,300		円 7,500		円 5,400		円 84,500	

平成 4 年 度 松 林 会 館 利 用 状 況

月 区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
主 催 事 業	件 数	12	15	15	15	15	13	43	24	22	22	38	26	260
	人 数	96	129	130	150	155	145	3,075	308	318	304	485	411	5,706
住 民 の 社会教育活動	件 数	138	144	144	152	98	123	122	105	100	94	103	123	1,446
	人 数	1,819	2,033	1,960	1,953	1,309	1,603	1,593	1,383	1,313	1,292	1,323	1,694	19,275
公 共 的 団 体	件 数	13	11	13	21	10	11	16	17	18	17	11	20	178
	人 数	222	183	155	416	99	123	523	362	444	301	143	340	3,311
政 治 ・ 宗 教 的 団 体	件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
企 業	件 数	1	1	2	1	1	3	3	0	0	0	2	1	15
	人 数	30	10	47	16	9	66	35	0	0	0	31	12	256
そ の 他	件 数	4	9	6	7	13	9	10	4	5	5	6	6	84
	人 数	77	180	68	104	147	102	154	47	70	43	58	68	1,118
合 計	件 数	168	180	180	196	137	159	194	150	145	138	160	176	1,983
	人 数	2,244	2,535	2,360	2,639	1,719	2,039	5,380	2,100	2,145	1,940	2,040	2,525	29,666

白 梅 会 館 利 用 状 況

月別 開館日数 区分 部屋別		4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3		合 計	
		25日		25日		25日		27日		27日		23日		26日		24日		23日		23日		23日		25日		296日	
		件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
大集会室	主催	件 2	人 35	件 3	人 296	件 1	人 6	件 1	人 15	件 5	人 64	件 5	人 130	件 4	人 80	件 8	人 210	件 1	人 15	件 1	人 6	件 2	人 48	件 1	人 25	件 34	人 930
	一般	50	1,113	46	706	45	754	48	994	26	502	33	628	47	868	33	598	37	766	32	592	34	548	49	1,005	480	9,074
小集会室	主催	1	15	4	208	5	37	7	47	0	0	3	24	5	40	2	18	0	0	1	5	0	0	1	16	29	410
	一般	37	502	35	449	31	386	25	371	23	308	34	470	41	543	34	454	28	426	27	403	31	452	37	527	383	5,291
和室	主催	0	0	1	8	4	8	5	47	0	0	5	94	9	180	4	98	0	0	1	5	0	0	0	0	29	440
	一般	50	711	37	632	40	688	51	824	26	488	37	545	38	579	30	451	32	576	25	539	40	757	42	710	448	7,500
学習室	主催	3	25	2	18	1	14	1	5	1	10	0	0	1	9	2	20	3	35	0	0	0	0	1	3	15	139
	一般	33	392	28	334	35	476	44	468	24	216	35	383	36	465	23	284	25	305	25	307	36	490	33	387	377	4,507
作業室	主催	0	0	2	18	8	56	4	8	0	0	0	0	0	0	17	85	0	0	15	30	0	0	5	10	51	207
	一般	20	448	25	411	35	594	14	206	19	190	24	336	30	202	28	479	40	520	16	256	16	256	32	480	299	4,378
合計	主催	6	75	12	548	19	121	18	122	6	74	13	248	19	309	33	431	4	50	18	46	2	48	8	54	158	2,126
	一般	190	3,166	171	2,532	186	2,898	182	2,863	118	1,704	163	2,362	192	2,657	148	2,266	162	2,593	125	2,097	157	2,503	193	3,109	1,987	30,750
総 計		196	3,241	183	3,080	205	3,019	200	2,985	124	1,778	176	2,610	211	2,966	181	2,697	166	2,643	143	2,143	159	2,551	201	3,163	2,145	32,876
使用料	件数	件 4		件 0		件 2		件 0		件 3		件 1		件 2		件 1		件 3		件 2		件 2		件 2		件 22	
	金額	円 2,800		円 0		円 600		円 0		円 4,300		円 900		円 2,100		円 2,000		円 3,600		円 1,000		円 4,400		円 1,200		円 22,900	

白 梅 会 館 利 用 状 況

月 区 分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合 計
主 催 事 業	件 数	6	12	19	18	6	13	19	33	4	18	2	8	158
	人 数	75	548	121	122	74	248	309	431	50	46	48	54	2,126
住 民 の 社会教育活動	件 数	185	170	184	166	115	162	190	146	158	124	154	190	1,944
	人 数	3,038	2,526	2,876	2,643	1,594	2,347	2,617	2,206	2,516	2,067	2,453	3,009	29,892
公 共 的 団 体	件 数	2	0	1	16	2	0	0	1	0	1	1	0	24
	人 数	50	0	20	220	100	0	0	30	0	30	20	0	470
政 治 ・ 宗 教 的 団 体	件 数	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	人 数	70	0	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	80
企 業	件 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人 数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他	件 数	2	1	1	0	0	1	2	1	4	0	2	3	17
	人 数	8	6	2	0	0	15	40	30	77	0	30	100	308
合 計	件 数	196	183	205	200	124	176	211	181	166	143	159	201	2,145
	人 数	3,241	3,080	3,019	2,985	1,778	2,610	2,966	2,697	2,643	2,143	2,551	3,163	32,876

3. 公民館運営審議会

公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議する機関である。この制度は社会教育法上必置制となっており、当市の場合任期2年、定員10名で構成される。

本年度の審議内容は次のとおりである。

- 第1回 平成4年4月9日(木) 公民館本館
- * 平成4年度上半期主催事業について
 - * その他
- 第2回 平成4年5月14日(木) 公民館本館
- * 正副委員長の互選について
 - * 都公連総会の報告について
- 第3回 平成4年6月11日(木) 公民館本館
- * 休館日の変更について
 - * その他
- 第4回 平成4年7月9日(木) 公民館本館
- * 都公連委員会報告
 - * 白梅10年誌座談会部分について
 - * その他
- 第5回 平成4年8月20日(木) 公民館本館
- * 関ブロ大会の参加方法について
 - * 視察研修について
 - * その他
- 第6回 平成4年9月10日(木) 公民館本館
- * 関東甲信越静公民館研究集会報告
 - * その他
- 第7回 平成4年10月8日(木) 公民館本館
- * 都公連Bブロック研修会報告
 - * 関ブロ大会準備委員会報告
 - * 下半期主催事業について
- 第8回 平成4年11月12日(木) 公民館本館

＊生涯学習について

＊その他

第 9 回 平成 4 年 1 2 月 1 0 日（木） 公民館本館

＊委員会全体研修会報告について

＊視察研修について

＊その他

第10回 平成 5 年 1 月 1 4 日（木） 公民館本館

＊視察研修事前学習

＊その他

第11回 平成 5 年 2 月 1 1 日（木） 公民館本館

＊館長の任命に関する意見聴取について

＊視察研修事前学習

＊その他

視察研修 平成 5 年 2 月 2 6 日（金）

立川市中央公民館

第12回 平成 5 年 3 月 1 1 日（木） 公民館本館

＊次期委員への申し送り事項について

＊視察研修報告について

＊その他

4. 奨励、援助

(1) 人的援助

各団体、個人の相談に応じ、職員が必要な助言、指導、援助を行った。

分館を除き、公民館では、夜間における社会教育の活動が昼間より非常に多いことから、これら社会教育活動をする市民（団体）の相談にのり、必要な援助をするため、職員が 1 名残る体制をとっている。（午後 5 時から 1 0 時まで）

(2) 教材、教具等の利用

(3) 事務援助

印刷事務援助等

(4) 会場借上

大ホール1回(福生市音楽愛好者連絡会)

小ホール3回(市民劇団バックス、福生市民コーラス、子ども達と自然を守る会)

社会教育備品貸し出し状況

月 内訳	4年 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	5年 1月	2	3	計
利用団体	3	8	6	7	8	3	4	3	4	2	1	1	50
16ミリ映写機		4	3	6	7	1	1	1	1	1			25
8ミリ映写機										1			1
8ミリカメラ											1		1
スライド映写機			2			1	1						4
O H P		1					2						3
スクリーン		5	4	3	5	2	1	1		1			22
暗幕		1			1							1	3
ビデオセット	3	2		1		1		2	2				11
スポットライト			1						1			1	3

多摩社会教育会館フィルム配送サービス取扱い

月 内訳	4年 4月	5	6	7	8	9	10	11	12	5年 1月	2	3	計
利用団体	1	2	3	12	4	1	2	3	3	5	2	3	41
本数	2	4	6	22	6	2	5	8	5	9	4	8	81

講師派遣事業

この制度は、公民館を利用する社会教育関係団体の活動を援助するため、公民館が予算の範囲内で講師を委嘱し派遣するものである。この制度を受ける事業はすべて公募とし、一般市民が自由に参加できるものとされている。

月 日	派遣サークル	講師	参加者数
5. 2. 6	福生コロジエの会	真弓定夫氏(医師)	50人
5. 2. 4	ありんこ	佐藤江津子氏	13人
5. 3. 23	あおいそら+元気山盛り通信	福本龍蔵氏	10人

5. 公民館主催事業

(1) 幼 児

保育室事業

子供をあずけることを通して大人が学習していく場として実施した。

期 間 前期 平成4年5月28日(木)～平成5年1月9日(土) 午前10時～正午
全16回、18回、22回、20回の4コース

後期 平成5年1月7日(木)～3月25日(木) 午前10時～正午 全15回

会 場 公民館本館、松林分館、白梅分館

内 容 講座と保育を大人の学習となるように連動させていく。

参加者

コ ー ス		参 加 幼 児							
		1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	計	回	延べ人数	合 計
前 期	公 民 館水曜コース	3	2	0	0	5	22	110	734
	〃 土曜コース	4	7	0	1	12	20	240	
	白梅分館木曜コース	2	2	3	1	8	18	144	
	松林分館火曜コース	6	6	3	0	15	16	240	
後 期	公 民 館木曜コース	3	7	0	0	10	15	150	150
計 884人									

総 括 年々参加幼児が低年齢化しており、定員に満たないコースも出てきた。このことは次年度の課題としていきたい。

公民館お楽しみ映画会

主に就学前の幼児と母親を対象に、映画、人形劇の鑑賞の機会を設けるために実施した。

月 日	内 容	回数	人 数
4. 18	アラジント魔法のランプ 午前11時、午後2時	2回	30人
6. 13	トンデモネズミ大活躍 午後2時、3時30分	2回	30
8. 1	白旗の少女『琉子』 午前10時、午後2時、7時30分	3回	25
10. 25	ハンスと子ねこちゃん 午前11時、午後2時	2回	15
12. 12	ピッピーの宝島 午前10時30分、午後2時	2回	40
2. 6	ムーミン2本 午前11時、午後2時	2回	20

(2) 少 年

子どもアウト教室

野外生活に必要な知識・技術を学びながら、子どもたちが主体的にキャンプにかかわることを目的に実施した。

期 間 平成4年8月12日(水)～9月2日(水) 午後2時～4時 全5回

会 場 公民館本館及び野外

参加者 25人×5回=125人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
8. 1 2	なかまを知ろう!	オリエンテーション、自己紹介	野 口 祐 貴 氏
8. 1 9	キャンプ班会議	メニュー、役割分担をきめる	山 本 真貴子 氏
8. 2 4	〃	スタンツ等決定、最終チェック	丸 山 和 代 氏
8. 2 6) 2 8	アウトドアキャンプ	五日市町青少年旅行村にて 2泊3日のキャンプを実施	石 川 太 郎 氏 森 田 義 典 氏 担 当 職 員
9. 2	キャンプ反省会	キャンプの反省	

夏休み工作教室「動物組み木をつくろう」

電動糸ノコをつかって、木の暖かみを大事にした組み木の工作を通じ、手作りのたいせつさ、工作のおもしろさを実感できるよう実施した。

期 間 平成4年8月10日(月) 午後1時～4時

会 場 公民館本館

内 容 小黒三郎先生デザインの動物組み木をつくる

参加者 15人

冬の工作教室「竹とんぼをつくろう」

竹を素材にしれ伝承遊びの工作をととして、手先の巧みさ、道具の使い方、また、親子のふれあいの場として実施した。

日 時 平成5年2月11日(祝) 午後2時～4時

会 場 公民館本館

参加者 5人

冬の子ども教室 '92

地域から異年令の子ども集団が姿を消して久しい。地域の異年令集団の形成と子どもの自治能力形成に向けて実施した。

期 間 平成4年12月13日

会 場 松林分館及び多摩川原

参加者 延80人

月 日	テ - マ	内 容	講 師
12月13日	たこを作ろう	凧づくり、ダイヤ凧	担当職員
20日	たこを作ろう	ダイヤ凧に絵をつける	〃
27日	たこを上げよう	かに坂公園で凧をあげる	〃
1月17日	ペーパークラフトを作ろう	ペーパークラフトで動物作り	〃
24日	ペーパークラフトを作ろう	〃	〃
31日	多摩川をたんけんしよう	多摩川原であそぶ	〃
2月 7日	多摩川をたんけんしよう	多摩川原のあし原たんけん	〃
14日	笛をつくろう	竹笛、紙ふえづくり	〃
21日	草花丘陵をたんけんしよう	草花丘陵であそぶ	〃
28日	草花丘陵、多摩川原へ	〃	〃

ファンタスティック

子ども教室から生れた、子どもたちの手による、子どもの劇団ファンタスティックは、子どもの自治能力の形成と演劇活動による表現活動の場の育成を目的としている。

期 間 平成5年4月13日から平成5年3月27日 毎土曜日 午後2時～4時

会 場 松林分館

参加者 延450人

4月～ 8月	作 品「いじわる王女さま」	台本読み 立けいこ	指導者
9月～10月	松林だれでも展に向けて		担当職員
11月～ 2月	新しい台本の選定 基礎的演劇練習		〃
3月	一小PTA送迎会に向けて練習		〃

行 事

劇団ファンタスティック 第9回公演「いじわる王女さま」

日 時 平成4年8月27日(日) 午後2時～3時

会 場 松林分館集会室 入場者 110人

演 出 黒木 摩耶 (第一小学校6年)

キャスト 平野 陽子 (第一小学校6年) 黒木 健太 (第一小学校4年)

小泉 元春 (第一小学校6年) 黒木 摩耶 (第一小学校6年)

酒井 まゆ (第一小学校4年) 水村 智恵 (第一小学校6年)

里島 佐智 (第一小学校5年) 唐崎まり子 (第一小学校6年)

プロンプター 唐崎さくら 太田 紗世 関戸 えり (第一小学校4年)

劇団ファンタスティック 第10回 公演 松林だれでもなんでも展に参加

日 時 平成4年10月25日 午前10時から11時

キャスト、演出は第9回に同様

入 場 者 60人

第一小学校PTA主催「新入生と6年生の迎送会」で公演依頼を受ける。

日 時 平成5年3月19日

会 場 福生市立第一小学校体育館

入 場 者 600人

出演作品 「いじわる王女さま」

子ども教室

トリックおもちゃ科学模型を作りながら、子ども同士の仲間づくりを図る機会とした。

期 間 平成4年8月17日(月)～21日(金) 午後2時～4時 全4回

会 場 松林分館

参 加 者 11人×4回=44人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
8. 17	科学模型	空気大砲	担 当 職 員
19	〃	〃	
20	トリックおもちゃ	グルグル飛行機	
21	〃	〃	

たんけん教室

「身近な多摩川や滝山丘陵で徹底的にあそぼう」。これが今年のだんけん教室のテーマで、20回におよぶプログラムを作成した。今年は天候にも恵まれ、予定の回数や内容をほぼ実施できた。

一年間を通して地域の中で遊んだことが仲間関係を深く豊かにし、多摩川や滝山丘陵の自然を一層身近に感じる事ができた。

期 間 1992年(平成4年)5月16日～1993年(平成5年)3月28日 全16回

会 場 白梅分館・多摩川・滝山丘陵・草花丘陵・狭山丘陵

参加者 延べ参加者数 206人

講 師 岡田紀夫氏ほか、実技指導員数名を依頼した。ほとんどの回を実技指導員で対応した。

日 時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
5. 16	白梅会館	オリエンテーション	自己紹介と教室の内容説明など	岡田紀夫氏他
5. 31	滝山丘陵	滝山オリエンティング	地図とコンパスの使い方を学ぶ	〃
6. 14	草花丘陵	草花オリエンティング	〃	〃
7. 19	多 摩 川	どろんこあそび	多摩川でどろんの中を裸足であそぶ	〃
7. 26	大丹波川	沢のぼりに挑戦	自然の川の中を、洋服を着たまま上る	〃
7. 30 7. 31	滝山丘陵	野宿に挑戦!	滝山丘陵の中で、一中の移り変わりを体験する	〃
9. 13	多 摩 川	バードウォッチング	多摩川の野鳥をかんさつした	〃
9. 23	草花丘陵	何でも食べる!	草花丘陵で栗とあげびを食べる	〃
10. 10	滝山丘陵	滝山の秋を探す	滝山丘陵の植物や昆虫を観察	〃
11. 3	狭山丘陵	オオタカを探す	狭山丘陵のオオタカをかんさつする	〃
11. 22	多 摩 川	焼き芋ごろごろ	川原の枯れ枝などで焼き芋を作る	〃
12. 20	滝山丘陵	冬のネイチャーゲーム	滝山丘陵で落ち葉などであそぶ	〃
1. 31	草花丘陵	冬の二次林	枯れ葉のつもる山道を楽しく歩く	〃
2. 11	三 頭 山	雪合戦をやろう	雪山の寒さや楽しさを体験する	〃
3. 28	御 岳 山	ファミリーハイキング	家族や仲間と一緒にハイキング	〃

総 括 今年は多摩川と滝山丘陵を利用した遊び(ネイチャーゲーム)が、かなり多くの成果をあげることができた。福生的な遊び場の開発や遊びながら自然の仕組みや働きを覚える機会を、これからも継続していく必要性を感じているが、何といてもスタッフを育てる問題が急務だと考えている。そのような意味で、職員が研修をする場が必要ではないだろうか。

参加する子ども達に関して言えば、年々、自然の草木から関心が薄れ、益々地域の自然環境とかけはなれた生活をしているようにみえる。その意味でも、地域の自然・環境と自分の生活の成り立ちの両面から考えられるような環境教育の必要性は、今後高まることが十分予想される。

夏休みの自然教室

昨年に続き、市内の多摩川原の昆虫を中心にかんさつをした。特に「カワラバッタ」が減少しているので、バッタの生活や生息状況を調べてみた。

期 間 1992年(平成4年)7月29日～8月24日 全4回

会 場 白梅分館・多摩川

参加者 延べ参加者数 20人

日 時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
7. 29	白 梅 公 館	オリエン テーション	教室の説明など	
8. 10	中 央 公 園	昆虫の観察	川原の観察やバッタの捕獲実験などを行う	栗原 仁氏
8. 17	南 公 園	同 上	川原の中で、主にカワラバッタを探す	同 上
8. 24	かに坂公園	同 上	川原の中で、バッタの捕獲と調査	同 上

総 括 昨年からはじめた多摩川のカワラバッタの調査。夏の間に見つけることができなかったが、10月になってやっと一匹見つかった。夏休み以降もさがしていた子どもが、ついにみつけたが、なんとさびしいかぎりである。来年も引き続き調査を続けたい。

親子トントン教室(親子で楽しみま専科)

期 間 平成4年8月5日(水)・6日(木)・21日(金)

会 場 白梅分館

参加者 3回=30家族60人

回	月 日	内 容	摘 要
1	8月 5日	お菓子入れ、壁掛け飾り、帽の壁掛け飾り、 鉢カバーの中から自分の作りたい材料を一点選 んで編み上げた。	山 崎 初 江 氏 高 橋 芳 枝 氏 斎 藤 令 子 氏 斎 藤 幸 子 氏 桑久保 睦 子 氏
2	8月 6日		
3	8月21日		

(3) 青 年

92' 夏！体験ボランティア

青少年がボランティア活動に関わるきっかけの場を提供するため、福生市社会福祉協議会と共催で実施した。

期 間 平成4年7月18日(土)～8月29日(土)

会 場 公民館およびボランティア受入れ施設

参加者 延べ158人

月 日	内 容	場 所
7. 18	説 明 会	公 民 館
受入れ施設		
サンシャインピラ	8. 22(水)～23日(木) 1泊2日	
青年学級にじのはらっぱ	8. 23(日) 日帰り	
れ ん げ 園	7. 30(木)・31日(金) 日帰り2日	
若 葉 保 育 園	8. 3(月)～ 8日(土) 日帰り6日	
"	8. 17(月)～22日(土) 日帰り6日	
"	8. 24(月)～29日(土) 日帰り6日	
加美平保 育 園	7. 21(火)～8. 7日(金) 日帰り14日	
"	8. 17(月)～28日(金) 日帰り10日	
福生おもちゃ図書館	8. 8(土)・22日(土) 日帰り2日	

(4) 障害者

障害者青年学級「にじのはらっぱ」

障害を持った青年が、集団活動を通して仲間づくりや基礎的生活習慣を身につける場として実施した。

期 間 平成4年5月17日(日)～平成5年3月14日(日)

会 場 公民館および野外

参加者 24人×22回＝528人

回	月 日	内 容	場 所
1	4. 5. 17	開 級 式	多摩川中央公園
2	31	ハイキング	羽 村 堰

回	月 日	内 容	場 所
3	6. 14	作品作り	公 民 館
4	28	作品作り	公 民 館
5	7. 19	河川清掃	多 摩 河 原
6	26	ボーリング大会	中神ヤングボール予定
7	8. 8～9	夏期合宿	西 湖
8	23	ブール	福 生 1 中
9	9. 13	ハイキング	昭和記念公園
10	20	作品作り	公 民 館
11	10. 4	スポーツ交流	羽村、青梅市
12	25	社会科見学	上 野
13	11. 8	市民ロードレース	市 内
14	29	ディスカバーティー	秋 川 市
15	12. 6	弁論大会準備	公 民 館
16	13	弁論大会	公 民 館
17	5. 1. 17	新年会	市 内
18	31	スケート大会	昭和記念公園
19	2. 14	バレンタインケーキ作り	公 民 館
20	2. 28～3. 1	冬期合宿	草 津
21	3. 7	映画鑑賞	新 宿
22	14	閉級式	公 民 館

*部分は福生市、羽村市、青梅市、秋川市の4市交流事業です。

聴覚障害者のための映画会

邦画に親しむ機会の少ない聴覚障害者のために字幕付き邦画を上映した。

期 間 平成4年6月12日(金)～平成5年3月12日(金)

会 場 公民館本館

参加者 87人

月 日	作 品 名	入 場 者 数
6 1 2	遺 産 相 続	1 7 名
9. 1 1	つ ぐ み	1 7 名
1 1. 2 0	釣 り バ カ 日 誌	2 1 名
1. 2 9	と な り の ト ト ロ	1 7 名
3. 1 2	イ タ ズ	1 5 名

(5) 女 性

保育室運営会議

保育室に子どもをあずけることを通して見えてくる問題を大人の学習にしていける場として実施した。

期 間 平成4年5月23日(土)～平成5年3月13日(土) 全11回

会 場 公民館

参加者 延べ 129人

月 日	内 容
5. 2 3	子供を預けて大人が学習している中での悩み、課題を出し合い、考える。
6. 2 0	「泣く」ことから子供が育つ道筋を考える。
7. 1 8	保育日誌「ちょっとまで」から集団の中から育つものを考える。
8. 2 0	保育日誌「お母さんはどこ」から子供にどのように関わろうとしているか、3歳児神話を考える。
9. 1 9	子供とどのように向き合おうとしているか。
1 0. 2 4	レポートをもとに子供とどのように向き合おうとしているか話し合う。
1 1. 2 1	レポートをもとに「子供をあずける、あずかる」ことを考える。
1 2. 1 9	レポート「講座に参加して見えてきたこと」を通して話し合う。
1. 2 3	レポート「輝く将来に向かって」をもとに話し合う。
2. 2 0	レポート「『良妻』から一人の人間として」をもとに話し合う。
3. 1 3	レポート「性別役割分業を越えて自分らしく生きていくために」をもとに話し合う。

総 括 今年度初めての試みとして運営会議をすすめるための、市民、職員、保育者の三者で

構成する運営委員会をもうけた。前期は職員と保育者だけで行うことが多かったが、後期は、意識的に自主グループに呼び掛け、三者で行うことができた。そのため、後期は自主グループからのレポートをもとに話し合うことができた。来年度はさらに運営委員会を充実させていきたい。

また、5年度へむけての4年度運営会議の総括として、「記録集」を保育者と職員とで作成した。今後記録作りも三者で取り組んでいきたい。

本館保育室連絡会

保育サークル同士、また公民館との連絡調整、情報交換の場として実施した。

期 間 平成4年5月18日(月)～平成5年1月26日(火) 全10回

会 場 公民館

参加者 延べ80人

月 日	内 容
5. 18	平成4年度の保育室事業について
27	保育室の整理、清掃
6. 3	保育室改築について
7. 20	保育室改築について
8. 6	保育室改築について(内装)
9. 4	保育室清掃、片づけ、新しくなった保育室の使い方について
17	保育室以外の部屋での保育使用について
11. 12	音楽室の使用について、後期主催事業について、団体事務室オモチャについて
12. 10	保育室清掃、整理、公民館利用者ネットワークの保育について
1. 26	公民館利用者ネットワークの保育について

総 括 隔月で実施する連絡会であるが、必要に応じて開催した。ほぼ毎月1回のペースであった。連絡会もかなり定着し、本来の目的が達成しつつある状況になった。

なお、7月から8月の夏休み期間は、保育室の改築工事があった。

幼児教育学級

幼児の成長・発達と親の役割について以下のように実施した。

期 間 平成5年1月7日(木)～3月25日(木) 全15回

会 場 公民館

参加者 10人×15回＝150人

回	月 日	内 容	備 考
1	1. 7	オリエンテーション	話し合い、紹介他
2	1 4	幼児期の成長・発達について I	大堀容子氏（幼児教育研究）
3	2 1	私達の子育てについて	話し合い
4	2 8	幼児期の成長・発達について II	大堀容子氏
5	2. 4	保育室での子どもの様子 (1)	保 育 者
6	6	私達の生活・家庭づくり	話し合い
7	1 1	少年非行と幼児期	川辺 進氏（保護司）
8	1 3	生物である人間と育児	宮岡一雄氏（明大教授）
9	1 8	私達の地域での仲間づくり	話し合い
10	2 5	保育室での子どもの様子 (2)	保 育 者
11	3. 4	ひとと人とのコミュニケーション	川辺 進氏
12	6	地域に子どもの遊びの機会づくりを！	話し合い
13	1 1	世田谷のプレイパーク実践から	天野秀明氏プレイリーダー
14	1 8	保育室での子どもの様子 (3)	保 育 者
15	2 5	私達のこれからの活動について	話し合い

フラワーデザイン教室

フラワーデザインの基礎を学び、日常生活の場で役立てる機会として実施した。

期 間 平成5年1月14日（木）～3月25日（木） 午後7時～9時 全6回

会 場 公民館

参加者 22人×6回＝132人

月 日	テ ー マ	講 師
1. 1 4	かごのアレンジメント	遠 藤 久 美 子 (フラワーデザイン講師)
2 8	コサージュ	
2. 9	食卓用アレンジメント	
2 5	グラスのアレンジメント	
3. 1 1	テーブルセッティング	
2 5	花器アレンジメント	

子どもの成長・発達とおもちゃ

〔土曜保育室併設〕

性別役割分業意識の中で、大工仕事等は男のもの、子育て・家事は女の役割という固定観念がある。そして、子どもが大きくなるまでは自分のやりたいことも我慢することが良い母親……という意識の中で、見えない形で、母子密着の状況が作られ、親も子ども社会に目を向け、人間らしく育つことが難しくなっている。

その様な中で、おもちゃ作りを通して、性別役割分業の克服や地域の人間関係を作り合い、その中からお互いに子育ての知恵を学び合うことを目指した。

期 間 平成4年5月30日(土)～平成5年1月9日(土)

月3回土曜日 午前10時～正午 全20回

会 場 公民館本館

内 容 預けることを通して、子育てや自分の生活をふりかえり、自分や社会を見つめなおす。動物組み木をつくる。パズルをつくる。

講 師 公民館保育者

参加者 10人×20回＝200人

ワープロ教室Ⅰ

初心者を対象にワープロの基本的な操作を学ぶとともに、女性問題へのアプローチとした。

期 間 平成4年6月17日(水)～6月22日(月) 全5回

会 場 公民館本館

内 容 東芝ルボ80Fを使い、ワープロの基本を学ぶ

参加者 10人×5回＝50人

講 師 システム情報館インストラクター

ワープロ教室Ⅱ

初心者を対象にワープロの基本的な操作を学ぶとともに、女性問題へのアプローチとした。

期 間 平成4年10月14日(水)～10月22日(木) 全5回

会 場 公民館本館

内 容 東芝ルボ95F等を使い、ワープロの基本を学ぶ

参加者 5人×5回＝25人

女の問題を考える講座

自分のありようやさまざまな現象を女性問題の視点で見通せるようになることをねらいとして実施した。保育室併設の講座である。

期 間 平成4年6月3日(水)～12月9日(水) 午前10時～正午 全22回

会 場 公民館

参加者 10人×22回=220人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
6. 3	保育打合せ	保育室について	保 育 者
10	私にとっての女の問題	自己紹介、各自の問題を出し合う	田 中 加 代 (保育者)
17	〃	各自の問題を出し合う	
24	大人も子どもも共に育ちあうために①	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	
7. 1	何を学習にしていくか	共通の課題をさぐる。	
8	〃	〃	
15	〃	〃	
22	大人も子どもも共に育ちあうために②	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	高 崎 文 江 (保育者)
8. 26	フェミニズム、性差別	女性差別とは何か	内 藤 和 美 (昭和女子大学)
9. 2	性別役割分担	性役割、女性役割	
9	「ケア役割」を越えて	主婦、家事労働	
12	男性参加の育児について	子育てに関わろうとしたきっかけ、子育てを通して気づいたこと	星 健 男 (男の子育てを考える会)
23	これからの女と男	パートナーシップを考える	〃
30	大人も子どもも共に育ちあうために③	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	田 中 加 代 (保育者)
10. 7	日本の高齢化社会が女性になげかける問題	高齢化社会の現状と女性にとっての課題	直 井 道 子 (学芸大学助教授)
14	家と夫婦の氏	夫婦別姓が問いかけるもの	内 藤 和 美
21	これからの学習について	これまでの学習をふまえて考える	

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
10. 28	大人も子どもも共に育ちあうために④	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	高 崎 文 江
11. 11	地域で活躍する女性	地域で活動するようになったきっかけ、子育てで大事にしたこと、夫婦の関わり、関係	中 川 キミ子 (福生市女性問題連絡会)
18	前回の話を受けて	前回の話をどう受けとめたか	
12. 2	大人も子どもも共に育ちあうために⑤	保育室運営会議でのテーマで話し合う。	高 崎 文 江
9	講座のまとめ	講座を通して学んだこと、これからの活動について	

総 括 昨年の講座の課題として、参加者がお仕着せでない学習ができるようにと、参加者自身の課題を女性差別として共通課題にしていく試みを講座前半で行った。問題の絞り込みや話し合いの方向付けは難しかったが、互いの問題が見え、昨年よりは一步深まる学習になったと思う。

ふっさ女性フォーラム '92

より多くの市民に女性問題について気づき、考える機会として実施した。

期 間 平成 4 年 1 0 月 1 7 日 (土) 午後 2 時～4 時 3 0 分 全 1 回

会 場 市民会館小ホール

参加者 1 5 7 人

内 容 講談 「山下さんちの物語～女性問題入門編～」 宝井 琴桜 (講談師)

講演 「これからの女と男」

円 より子

(現代家族問題研究所代表)

総 括 より多くの市民に女性問題を知ってもらうため、誰もが参加できるスタイルで、女性問題を考えるきっかけになるものとして 4 年度からの新事業としてスタートした。

公民館は講座、教室を中心に女性問題に取り組んできた。それは女性問題を解決するための適切な学習形態であり、今後も中心にしていくべきと考える。フォーラムはあくまでも層を広げていく役割である。

アンケートからも次回を期待する声が多く、運営に携わった「福生市女性問題連絡会」を中心に 12 月から 1 回のペースで「ふっさ女性フォーラム '93 を進める会」がスタートした。

パネル展“女たちがつくる「防犯」フェスティバル”より

防犯標語や町の中に立つ女性の彫像等を女目で見つめなおしたパネル展をとおり、女性の人権、差別の問題を考える機会とした。

期 間 平成4年10月17日(土) 午後1時～5時 全1回

会 場 市民会館小ホールロビー

来場者 157人

内 容 面白防犯グッズ、彫像ウォッチング、女のかるた、「みずら」の標語

家庭教育学級＝手づくり絵本＝

生命を生んだ母親が、その生命を育てた証し、絵本に託した、手づくり絵本をつくりながら、子どもが育っていく過程に必要な文化環境や子育ての知恵を学び、自分の子育て観や生き方を問いつけず機会とした。

期 間 平成4年10月26日(火)から平成5年3月2日

平成5年1月12日より毎火曜日に実施 全16回

会 場 松林分館

参加者 延320人

月 日	テ	マ	講 師
10月26日	オリエンテーション		担 当 職 員
2日	子育てや文化について語りましょう		〃
9日	絵本について、私の絵本論		木住野利明氏 (絵本作家)
16日	絵本のストーリーを考えよう		
30日	子育てを考える		田中加代氏(保育者)
12月 7日	絵本の枠組を考えよう		木住野利明氏
14日	絵本の技法		
21日	子育てと女の自立		田中 加代氏
1月12日	絵本の製作		木住野利明氏
19日	絵本の製作		
26日	子育てと女の自立Ⅱ		田中 加代氏
2月 2日	絵本の製作		木住野利明氏
9日	絵本の製本技術と方法		

月 日	テ	マ	講 師
2月16日	絵本の実際		木住野利明氏
23日	子育てと女の自立		田中 加代氏
3月 2日	絵本の合評会		木住野利明氏

婦人学級＝40代からどう生きるか＝

人生80才時代という高齢化社会を迎える中で、女性の40代は、その中間点にあたる。

この40才代をどう生きて行くのか、それは、女の老後の迎え方、質を決めると言える。高齢期の課題を、女性問題の視点から改めて考える機会とした。

期 間 平成5年1月29日(金)から3月12日(金) 全6回

会 場 松林分館

参加者 延60人

月 日	テ	マ	講 師
1月29日	オリエンテーション		担 当 職 員
2月 5日	女の暮らしは、今、女性問題の課題は＝		〃
19日	「差別撤廃条約を読む」		橋立弘子氏(都社教職員)
26日	ライフスタイルの変化と女性の自立		富永静枝氏(白梅大教授)
3月 5日	老後の暮らしと年金		〃
12日	在宅福祉をめぐって＝地域でいま＝		石川治子(ケアセンター) やわらぎ

松林保育室利用者交流会

保育室利用サークルの情報交換、および研修の場として実施した。

月 日	テ	マ	運 営 者
7月 6日	保育室情報交換、箱積み修理		公 民 館 職 員
12月17日	〃		〃

人形劇を創る

人形劇を創るということは、人形の頭・衣服・背景・小道具などの他、シナリオも作って上演するまでのことを含んでいる。この作業に、乳幼児を抱える母親に参加してもらい、お互い子育て

ての情報交換を通して、閉塞状況の女性の日常を考える機会として実施した。なお、この教室は約半数の外国人女性にも参加を促すために英語での募集記事をだしたところ、2名の外国人の方から問い合わせがあったが、言葉の不安と知人のいないところへ参加する不安のために参加しなかった。

期 間 1992年(平成4年)5月28日～11月5日 全18回

会 場 白梅分館

参加者 延べ参加者数 126人

講 師 原嶋卓三氏

日 時	会 場	テ ー マ	内 容
5. 28	白梅分館	オリエンテーション	教室の説明や各自の自己紹介、保育について
6. 4	同 上	各自の自己紹介	昨年の作品をビデオで見て、シナリオの相談などを行う
11	同 上	人形の製作	人形劇についての話を聞き、頭を作りだす
18	同 上	人形の製作	顔の表情を描き完成。洋服作りなどへ
25	同 上	保育室学習会1	子どもを保育室に預けることって、ということなのか?
7. 2	同 上	人形の勢作	人形の洋服作り
9	同 上	人形の勢作	人形の持ち物などの小物の製作に入る
16	同 上	人形の勢作	小物や背景などの製作に入る
23	同 上	保育室学習会2	運営会議の報告などに関連して子育てを語り合う
9. 3	同 上	小道具の製作	背景や小道具などの製作
10	同 上	小道具の製作	同 上
17	同 上	小道具の製作	同 上
10. 1	同 上	保育室学習会3	運営会議の報告などに関連して子育てを語り合う
8	同 上	本 読 み	シナリオを元に声をだして練習を開始する
15	同 上	立ち稽古	台詞を話ながら人形や背景なども動かしてみる
22	同 上	立ち稽古	同 上
29	同 上	リハーサル	本番と同じようにセットを組んで上演練習をする
11. 5	同 上	人形劇上演	友人知人を呼んで、人形劇の上演をおこなう

総 括 今回は参加者も多くなく、内容的には充実した人形劇となった。しかし、数多くの回数を重ね上演までしても、妊娠や転居などで再上演ができないことが多く、少々残念な気持ちが残る。

(6) 成人・一般

市民文化教室

1. 主催 福生市公民館 福生市文化連盟
2. 目的 多くの市民に趣味や実技、教養に関する初歩的学習機会を提供することにより、市民文化活動への参加を促し、その活動の拡大に役立てる。

コース	開 講 期 間	内 容	指 導 者	参加者
三 味 線 (中級)	7月17日～9月18日 (全10回金曜夜間)	三味線上達法	玉津 信男	130人
尺 八	7月23日～10月1日 (全10回木曜夜間)	尺八の基礎から小作吹奏	城戸 浩山	100人
編物・手芸	7月30日～10月15日 (全10回木曜午前)	初心者のためのやさしい ニットづくり	堂田きよ子	120人
剣 詩 舞	8月8日～10月24日 (全10回土曜夜間)	初心者のための剣詩舞基 礎から演舞まで	小川由利子	90人
詩 吟	8月19日～10月28日 (全10回水曜夜間)	芳野懷古・宝船・壁に題 す・偶成、ほか	竹井 正市	90人
民 謡 踊	8月22日～10月24日 (全10回土曜午後)	踊りの作法・扇の使い方 群舞の研究等	宍戸 千里	220人
民 謡	8月22日～10月24日 (全10回土曜夜間)	木曾節・関の五本松・津 軽タント節、ほか	安井喜久子	90人
社交ダンス	8月29日～10月24日 (全10回土曜夜間)	初心者ブルース・ジルバ ワルツ・ルンバ、ほか	橋本 洋	260人
書 道	9月3日～11月19日 (全10回木曜午前)	入間 楷書・行書・草書 仮名の基礎知識、技術	私市 好美	180人
茶 道	9月4日～12月4日 (全10回金曜午後)	茶道初心者講習	山田すみえ	200人

第九実行委員会

第3回第九演奏会の開催にむけ、また市民合唱団の充実運営のため、公民館と市民実行委員の構成により、以下のように実施した。

期 間 平成4年5月20日(水)～平成5年4月24日(土) 全10回

会 場 公民館

参加者 30人×11回=330人

回	月 日	内 容
1	4. 5. 20	2回のコンサート振返り、今回演奏会計画・実行日程態勢
2	6. 10	演奏会指導者ソリスト、合唱指導者・日程、合唱団員募集
3	7. 4	合唱団員募集段取り、合唱団運営について
4	8. 19	団員応募状況と対応、パート分け・ピアニスト募集
5	8. 26	応募者160人のパート分け調整会(指導者2人)
6	10. 17	合唱団の運営体制、合唱練習方法希望、多摩らいふカルメン
7	11. 21	演奏会ポスター・チラシ、当日プロパンフ、カルメンについて
8	12. 6	年末合唱団懇親会、年明け合宿について //
9	5. 2. 24	最終段階日程、VTR・記念写真・演奏会テープ、打ち上げ、 //
10	4. 22	演奏会振返り、団運営各種報告：カルメン合唱団運営について
11	4. 24	演奏会本番VTRの鑑賞、テープ・記念写真処理、今後について

第九合唱講習会

3月19日(金)の「第3回ふっさ春の『第九』演奏会」にむけ、市民第九合唱団の育成の機会として実施した。

期 間 平成4年9月9日(水)～3月18日(木) 全30回

会 場 公民館集会室 市民会館大小ホール ほか

参加者 120人×30回=3600人

合唱講習会 設 定 ・ 内 容	指 導 者 ・ ピ ア ニ ス ト
・合唱パート ソプラノ、アルト、テノール、バス ・練習日 水曜は夜間、日曜は午後に設定 ・練習内容 ①ドイツ語の意味・発音練習 ②ベートーヴェン「第九」第4楽章の合唱音取り、暗譜練習 ③パート練習と合同練習の組み合わせ ④合宿、大ホールリハ、オーケストラソリストとの音合わせにより本番へ	指導者 朝日育也氏(玉川大学教授) 平川 信氏(声 楽 家) ピアニスト 山下やよい 小田切洋子 杉本まゆみ

『どうする、どうなる学校五日制』

9月から導入される学校五日制を前に、学校五日制を通し、地域で教育を語り合える大人同士の関係とつながりを作り、豊かな子ども達の成長のために何が今必要かを考えるきっかけとして実施した。

日 時 平成4年7月25日(土) 午後7時30分～9時

会 場 公民館本館

内 容 教育長と語ろう。普段感じている教育についての疑問や意見をお互いに交換し合う。

参加者 12人

講座「学校五日制」

学校五日制をきっかけに地域で教育について語り合える環境を作るとともに、学校五日制の基本的な理解や子どもの教育にかかわる学校・家庭・地域の役割について考える。

期 間 平成4年9月12日(土)～10月24日(土) 午後7時30分～9時30分 全3回

会 場 公民館本館

参加者 6人×3回=18人

月 日	テ ー マ ・ 内 容	講 師
9月12日	教育を語り合うきっかけに なぜ、学校五日制なのか……その背景をさぐる	小 木 美代子 氏 (日本福祉大学)
9月26日	子どもの地域生活を豊かに 少年少女センターの実践から地域における自主的・自治的 活動の可能性と大人のネットワークについて考える	岩 橋 能 二 氏 (少年少女センター)
10月24日	学校だけが教育じゃない 学校五日制を機会に、あらためて、地域や家庭の教育力に ついて考える	木 全 力 夫 氏 (創 価 大 学)

講座「子育ての中の性教育」

性教育元年といわれ、マスコミでもショッキングに取り上げられている性教育。ここでは親の性に対する向き合い方を問い直すとともに、男も女もともに自立した一人の人間としてどう生きるか……という視点から性教育をとらえ学習した。

期 間 平成5年2月27日(土)～3月16日(火) 全4回

会 場 公民館本館

参加者 7人×4回=28人

月 日	テ マ ・ 内 容	講 師
2月27日 14:00- 16:00	ないしょのはなしはあのねのね…… 子ども110番の相談事例から子どもの性の悩みをどうとらえ、 解決していくかを考え合う	大西 住江氏 (子ども110番 相談員)
3月 6日 14:00- 16:00	えっ、こんなこと教えてんの！ 海の向こうとこっちでは 北欧の性教育事情を学びながら学校や家庭での性教育について 考える	高山 次雄氏 (性教協多摩サ ークル)
3月13日 14:00- 16:00	はずかしがらないで！ 確かめよう、私の中の性意識 映画『弟たちの誕生』を見ながら、自分自身の性意識を見つめ 直してみよう	佐藤 洋子氏 (性教協多摩サ ークル)
3月16日 10:00- 12:00	自立と共生をめざして 何に向かったの性教育なのか？ 自らの生き方を含めて考えあ っていきましょう	山本 直英氏 (「人間と性」 研究協議会)

ワープロ教室Ⅰ

初心者を対象にワープロの基本操作と文章作成を学ぶため実施した。

期 間 平成4年6月17日(水)～6月22日(月) 全5回

会 場 公民館本館

内 容 東芝ルポ80Fを使い、ワープロの基本を学ぶ

参加者 10人×5回=50人

講 師 システム情報館インストラクター

ワープロⅡ

初心者を対象にワープロの基本操作と文章作成を学ぶため実施した。

期 間 平成4年10月14日(水)～10月22日(木) 全5回

会 場 公民館本館

内 容 東芝ルポ95F等を使い、ワープロの基本を学ぶ

参加者 5人×5回＝25人

男のための「生活技術の基礎知識」

女性問題は男性問題！ 男も生活の自立を目指すとともに、性別役割分業を超え、あらたな男女共生を目指して実施した。また地域での男のネットワークづくりをめざした。

期 間 平成4年9月5日(土)～12月5日(土) 午後

会 場 公民館本館他

参加者 8人×7回＝56人

月 日	テ ー マ ・ 内 容	講 師
9月 5日	オリエンテーション 自己紹介、簡単な酒肴	
9月19日	男の自立・女の自立 講師の体験を含め、性別役割について考える	福田 三津夫氏 (小学校教諭)
10月 3日	やっぱりご飯のおかず グルメもいいけど、普段の料理 おとうさんの煮物他	〃
10月17日	This is アイロンがけ かしこい洗濯のはなし ポテトサラダ、あさりの味噌汁他	森田 治男氏 (クリーニング店主)
11月 7日	手打ちうどんに挑戦 地粉を使って手打ちうどん。汁はかつお、昆布、椎茸で	加藤 有孝氏 (松林分館)
11月21日	基本のダン汁をつかって 根菜の煮物、身欠きにしんの煮付け他	
12月 5日	なべを囲んで忘年会 石川酒造見学、酒のはなし	石川 太郎氏 (石川酒造)

講座「男の料理」

女性問題は男性問題！ 男も生活の自立を目指すとともに、性別役割分業を超え、あらたな男女共生を目指して実施した。また地域での男のネットワークづくりをめざした。

期 間 平成5年1月9日(土)～3月20日(土) 午後6時～9時

会 場 公民館本館

参加者 16人×6回＝96人

講 師 谷口美津子氏（管理栄養士）

内 容 『丸元淑生のクックブック』をテキストに調理の実習と話し合い

やじきたハイキング

ハイキングを通して市民の健康づくりを図ることを目的とし実施した。

参加者 延べ171人

月	日	行	先	参 加 者
4.	4.	8	鳥居観音（金比羅山）	40人
	7.	20	大檜峠から御岳山	29人
	11.	16	奥多摩むかしみち	38人
5.	1.	29	高尾山	26人
	3.	16	青梅南丘陵～都立草花丘陵	38人

コース選定 吉野 チェ氏・吉原 寿子氏・藤野 二郎氏・美野 善光氏

雨天のため棒の折山（6月・9月）は中止

芸術鑑賞入門講座「伽藍の配置と様式」

寺院の伽藍配置や建築様式の基礎を学ぶ機会として実施した。

期 間 平成5年5月11日～6月6日（土）

午後7時半～9時半（見学会のみ午後2時～4時）

会 場 公民館本館

参加者 20人×5回＝100人

月	日	内	容	講	師
5.	11	寺院建築の伽藍配置		白井 裕康氏 （早稲田大学 専門学校講師）	
	18	和 様 建 築			
	25	禅 宗 様 建 築			
6.	1	大 仏 様 建 築			
	6	見学会（青梅市天寧寺）			

明るい老後のための経済学

長期ビジョンに立って人生80年時代のライフスタイルを考える機会として実施した。

期 間 平成5年1月19日(火)～2月16日(火)

午後2時～4時

会 場 公民館本館

参加者 8人×5回＝40人

月 日	内 容	講 師
1. 19	社会保障と暮らし	久野 万太郎氏 (評論家)
1. 26	公的年金はどこまで頼りになるか	
2. 2	新しい視点での金融資産づくり	
2. 9	医療経済に強くなろう	
2. 16	老後の住まいと介護	

公民館本館利用者研修会

八王子市で起こった公民館有料化問題を機に、あらためて公民館が無料で使える意味を考える機会として実施した。

期 間 平成5年3月9日(火)

午後7時半～9時半

テーマ 「公民館はなぜ無料か」

講 師 島田 修一氏(中央大学教授)

会 場 公民館本館

参加者 21人

公民館本館利用者交流会

利用者間の交流を図るとともに次年度予算編成期を控え、利用者の要望を聞く機会として実施した。

期 間 平成4年9月17日(木)

午後7時半～9時半

会 場 公民館本館

参加者 10人

16ミリ映写機操作講習会

16ミリ映写機の操作技術の習得と、視聴覚教材の知識を身につける機会として実施した。

期 間 平成4年6月22日(月)・24日(水)・25日(木)

午後7時～10時

会 場 公民館本館

参加者 13人×3回=39人

月 日	内 容	講 師
6. 22	操 作 方 法 の 説 明	担 当 職 員
24	操 作 練 習	
25	個 別 操 作 と 修 了 式	

講座「ともに生きる」・障害者の人権を考える

教育・地域・労働の面から障害者の人権を考え、「ともに生きる」ための課題をさぐる機会として実施した。

期 間 平成5年6月29日(月)～7月13日(月)

午後1時半～3時半

会 場 公民館本館

参加者 33人×3回=99人

月 日	内 容	講 師
6. 29	精神障害者と人権	小林 信子氏(精神医療を良くする会)
7. 6	知恵遅れと人権	矢部 進氏(精神障害者権利擁護センター)
7. 13	身体障害者と人権	近藤 秀夫氏(町田市福祉事務所ケースワーカー)

講座「生涯学習」

「生涯学習」とは何かを問うことから始めて、「生涯学習計画づくり」について考える機会として実施した。

期 間 平成5年2月16日(火)～3月2日(火)

午後7時半～9時半

会 場 公民館本館

参加者 12人×3回=36人

月 日	内 容	講 師
2. 16	生涯学習計画づくりの基本的視点	島田修一氏（中央大学教授）
2 3	立川市生涯学習推進計画から	関繁男氏（立川市社会教育課）
3. 2	三多摩地域の生涯学習計画づくりから	内田純一氏（多摩社会教育会館）

市民大学講座・法律「自己破産」－破産法－

クレジットやサラ金などによるカード破産が社会問題になっている昨今、自己破産を中心に破産法を学んでいく機会として実施した。

期 間 平成4年11月9日（月）～30日（月）

午後7時半～9時半

会 場 公民館本館

参加者 19人×3回=57人

月 日	内 容	講 師
11. 9	カード破産の実態	宇都宮 健児氏 （弁護士）
11. 16	自己破産申立手続き	
11. 30	消費者配産法のあるべき姿	

第11回 公民館のつどい

さまざまな地域の課題や問題を市民のレベルで市民が考え合う場として実施された。

期 間 平成4年5月7日（木）～7月20日（月）（実行委員会及び振り返る会）

つどい実施日 平成4年7月12日（日）

会 場 公民館本館及び福祉会館

参加者 450人

月 日	テ ー マ	内 容
5. 7	第1回実行委員会	つどい構想、日程、会場、予算について
2 1	第2回 //	分科会数及び担当、交流会、テーマ、保育について
6. 4	第3回 //	分科会内容、交流会内容について
1 8	第4回 //	交流会、ポスター、チラシについて
7. 2	第5回 //	会場決定、最終確認

月 日	テ - マ	内 容
7. 1 2	公民館のつどい	つどい当日
2 0	つどいを振り返る会	つどいの反省及び今後について

つどい当日のプログラム 7月12日(日)

10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00

分 科 会

┌──────────┐

会 場 移 動

┌─┐

交 流 会

┌──────────┐

あとかたづけ

┌──────────┐

手作りコーナー

┌──────────┐

分 科 会 構 成

分 科 会 名	司 会	記 録	事例発表者	助 言 者	会 場
公民館について フリートーク	杉山 行男氏	福岡 謙二氏	中村 忠規氏		福祉・ 視聴覚室
障害者と共に 歩むまちづくり	柳 正氏	大和田玲子氏		石川 左門氏 (東京進行性筋 萎縮症協会理 事長)	視聴覚室
子どもの健康と 学校給食	山下 和代氏	伊藤美知子氏	鷲田 柔子氏 浜中 順氏 佐藤 洋子氏 星田貴美恵氏		福祉・第2 集 会 室
高齢者と公民館	立川 愛雄氏	永井 耕美氏 佐藤ふじ江氏	川辺 進氏		第6・7 集 会 室
世界まるかじり	伊藤由美子氏	高橋由美子氏	高橋由美子氏	飯岡 一文氏 (元大使館 職員)	第4・5 集 会 室
自主サークルと保育	伊組 恵美氏 木本 薫氏	鈴木 寿子氏	滝下 幸子氏	片桐 純子氏 (国分寺光公民 館保育者)	福祉・第1 集 会 室
わたしたちとゴミ問題	佐渡 裕美氏	堀尾まさえ氏	西村 安栄氏	田島喜代恵氏 (日の出の自然 を守る会)	第3・ 集 会 室
たりてますか、 子どもの勉強量	伊藤 則子氏	大塚 京子氏	吉崎 頼子氏	平湯 紘一氏 (雑誌「母と子」 編集長)	音 楽 室
楽しくサークル 活動するために	大石 安子氏	遠山 時市氏		小山 安彦氏 (話し方コミュニ ケーションコンサル ティング所長)	第1・2 集 会 室

公民館本館調理室利用者連絡会

調理室利用サークルの連絡調整、情報交換の場として実施した。

会 場 公民館本館

参加者 6人×2回=12人

月 日	内 容
5. 14	調理室の清掃、部屋の受付方法
7. 9	〃

公民館利用ネットワーク

公民館利用者の交流、情報交換の場として1日2回、昼と夜に実施した。

月 日	内 容
12. 3	最近、公民館を利用して感じたこと、利用者研修会内容について
3. 18	最近、公民館を利用して感じたこと、利用者研修会に参加して

会 場 公民館本館

参加者 昼の部 14人×2回=28人

夜の部 6人×2回=12人

市民大学歴史コース、「日本の近代とアジア」

国際化といわれる中で、日本の歴史認識をめぐる、アジアの人々から多くの批判が語られている史認識のずれが問題になっている。改めて、日本の近代化の過程でのアジアの不幸な関係を見直しながら、今日の日本を考える機会とした。

期 間 平成5年1月30日(土)から4月10日(土) 全10回 午前10時～12時

会 場 松林分館

参加者 延人数210名

月 日	テ ー マ	講 師
1月30日	オリエンテーション	川村善二郎氏 歴史学者 東経大、学芸大
2月 6日	なぜ何のために歴史を学ぶのか	
13日	鎖国から開国へ 近代世界の成立と日本	
20日	富国強兵の実現をめざして - 世界史の中の明治維新	
27日	「脱亜入欧」への道 自由民権とアジア問題	

月 日	テ	マ	講 師
3 月 6 日	圧迫された国から圧迫する国へ	日清戦争	講 師 日本近代史研究会
1 3 日	アジアにおける帝国主義代	北清事変と日露戦争	
2 0 日	独立国「朝国」から植民地「朝鮮」へ	朝国併合への道	
2 7 日	第1次大戦と日本	二十ヶ条約と五・四運動	
4 月 1 0 日	日本統治下の植民地「朝鮮」	三・一運動と関東大震災	

人権講座 「差別のない社会をめざして＝基本的人権と私たちの課題」

民主主義国家として、日本国憲法を制定し、すべての国民に基本的人権を保障しました。しかし、部落問題をはじめ、心身障害者差別、男女差別等多くの差別が存在している。一方、「差別されたこともなければ差別したこともない」という言葉に代表されるように、以外に人権感覚が薄いことも事実である。改めて基本的人権について学ぶ機会とした。

期 間 平成4年12月5日(土)～12日(土) 2回 午前10時から12時

会 場 松林分館 参加者 延30人

月	日	テ	マ	内	容	講	師
1	2	月	5	日	基本的人権とは何か	基本的人権の成立の歴史	川村善二郎氏 (東京経済大学講師)
1	2	月	1	2	日	現在社会と部落差別	

地域福祉講座

急激に進む高齢化社会、老後の生活保障の不安、健康の不安、寝たきり老人や障害者を支える介護の問題、未整備な社会システムの問題等の中で、高齢者も障害者も安心してくらせる地域福祉の課題を考える機会にした。

期 間 平成5年1月28日(木)から3月18日(木) 全6回 午後7時30分～10時

会 場 松林分館

参加者 延60人

月 日	テ	マ	講 師
1 月 2 8 日	オリエンテーション		担 当 職 員
2 月 4 日	地域の福祉はいま	I 障害者福祉の現状	北村 章氏(市福祉部)
1 8 日		II 老人福祉の現状	三沢哲也氏(市福祉部)
2 5 日		III 社会福祉協議会の活動は	田村 保氏(社協)

月 日	テ ー マ	講 師
3月 4日	いま、福祉政策の現状は＝	久保寺光良氏（和光市職員）
11日	ノーマリゼーションとは	宮島 敏氏
18日	市民が作る福祉ネットワークとは	聖隷福祉事業団

識字学級「ことばの会」

日本における被識字者に対する識字教育の場、および外国人の日本語学習の場として設定した。

期 間 平成4年4月13日（月）から平成5年3月25日（火）

会 場 松林分館

参加者 延160人（日本人2人、韓国4人、ベル2人、ブラジル1名）

月 日	教 材	講 師
4月13.20.27日	たんぼの花	高崎伊平氏 （元小学校々長）
5月11.18.25日		
6月 8.15.22.29日	テレビと馬	
7月 6.13.20日	ペロ出しチョンマ（斉藤隆介作）	
9月 7.14.21.28日	ペロ出しチョンマ（斉藤隆介作）	
10月 5.12.19.26日	井 戸（千葉省三作）	
11月 2. 9.16.30日	井 戸（千葉省三作）	
12月 7.14.21日	めじろとせいかじいさん（川崎夾治作）	
1月 7.14.21.28日	わたしのおいたち（うえだまさよ作）	
2月 4.11.18.25日	おおきなカブ	
3月 4.11.18.25日	詩、ことばのけいこ、かぼちゃの葉	

P T A 講座

P T A 運営に関する基礎的知識を学ぶ機会とした。

期 間 平成4年10月22日から12月3日 全7回 午後2時～4時

会 場 松林分館

参加者 延 63人

月 日	テ ー マ	内 容	講 師
10月22日	PTAを楽しむ	PTAとは	前橋弘子氏
29日	PTAの運営Ⅰ	PTAの実際の運営の基本は	溝渕幸太郎氏 (元3小PTA会長)
11月5日	PTAの運営Ⅱ	専門委員会の活動は	
12日	PTA広報の役割	PTA広報は何を伝えるの	前橋弘子氏 元読売新聞PTA広報 コンクール審査員
19日	PTA広報紙の編	PTA広報紙の編集の技術	
26日	集と実際の技術	と実際の作成	
12月3日	〃	〃	

教育講座「戦後教育の歩みから改めて教育を見直す」

登校拒否、非行をはじめさまざまな子どもの発達の歪みが語られて久しい。改めて戦後の教育をふり返り、今日の教育問題を考える糸口にした。

期 間 平成5年1月29日から3月19日 午前10時から12時 全9回

会 場 松林分館

参加者 延 7人

月 日	テ ー マ	講 師
1月29日	戦後教育のあけぼの - 1945年の前とあと	徳武敏夫氏 法大、和光大講師
2月5日	「新教育の出発」-戦後教育の出発とその理念	
19日	1950年代の教育の二つの流れ	
26日	高度経済成長と教育一人的能力開発と新幹線授業	
3月5日	教育をめぐる二つの路線、国民の教育権と国家の教育権	
12日	臨時教育審議会の答申と学習指導要領	
19日	国際的検証に耐える教育とは - 歴史認識を育てるか '87年学習指導要領	

簿記講座

生活に追われ、学習から遠ざかっていた人が、余裕のできた時間を学習のチャンスとするため、この講座を実施した。

期 間 平成5年2月18日(木)～3月25日(木) 全9回

木曜日は午後6時30分～8時30分 土曜日は午後2時30分～4時30分

会 場 松林分館

参加者 22人×9回=198人

月 日	内 容	講 師
2. 18	自己紹介等	担 当 職 員
20	企業の簿記、資産・負債・資本	
25	勘定とその記入、損益の計算	
3. 4	取引、仕訳帳と元帳	
6	試算表	
11	精算表	
18	決算（その1）	
20	現金・預金・有価証券の記帳	
25	商品売買の記帳	

だれでもなんでも展

開催日 10月24日(土)・25日(日)

プログラム

10月24日(土) 午後1時～5時

展示 絵画、陶芸、彫刻、書道、七宝、文章、サークル紹介

演示 映画 「ベルとかいじゅう王子」「アルプスの少女ハイジ」

喫茶コーナー コーヒー、ジュース

10月25日(日) 午前10時～4時30分

展示 絵画、陶芸、彫刻、書道、七宝、文章、サークル紹介

演示 ○劇「いじわる王子さま」(ファンタスティック)

○マジック(アマチュアマジッククラブ)

○合唱(ひまわり共同作業所)

○シャンソン(福生シャンソンをうたう会)

○コーラス(コールコスモス)(コーラス虹)

○大正琴演奏(琴松会)

○新舞踊(白梅会)

○剣詩舞(剣詩舞同好会)

○民謡(峯敏会)

○つぶやきコンサート

○フリートークキング

○獅子舞

喫茶コーナー 模擬店コーナー、囲碁コーナー

展示作品 558点(一般 278点、サークル280点)

出品者、団体数 一般 44人 団体 10サークル

参加団体 29サークル

延入場者数 1,985人

だれでもなんでも展実行委員会

地域に開かれた文化祭をめざし、1) 地域の中でこつこつと作品を作っていたり、日常の生活の中で行われている文化的営みを掘りおこし、そうした活動をしている人々を地域でつなげていく。2) そういう人をつなげる役割を分館利用者が担っていく。3) 松林でのサークル活動の発展の場として、サークル活動を地域に広げていく。という三つの柱のもとに、利用者交流会が中心になり、実行委員会を結成、準備、実施にあたった。

実行委員会日程

- 6月27日 第1回実行委員会(正副実行委員長決定、実施日決定)
- 7月11日 第2回実行委員会(テーマ決定)
- 7月25日 第3回実行委員会(ポスター原案決定)
- 8月22日 第4回実行委員会(よびかけ文決定)
- 9月5日 第5回実行委員会(参加状況調べ)
- 9月12日 第6回実行委員会(展示会場を決めた。)
- 9月19日 第7回実行委員会(演示時間、受付担当等を決めた。)
- 9月26日 第8回実行委員会(ポスター、チラシの配布)
- 10月3日 第9回実行委員会(材料、消耗品等の確認)
- 10月17日 第10回実行委員会(細部の確認)
- 11月7日 反省会

参加者 延べ131人

今年のテーマ いま、輝こうあなたもわたしも、可能性を信じて
＝ひろがれ、手づくりネットワーク＝

松林ひだまりハイキング

早春の奥武蔵のすばらしい景色が楽しめるハイキングを実施した。

期 日 平成5年3月30日(火)

参加者 13人

コース 東福生駅 —電車— 東飯能 —電車— 武蔵横手 …… 五常の滝
 …… 北向地蔵 …… 鎌北湖 …… 物見山 …… 駒高 ……
 日和田山 …… こま駅 ——— 東飯能 ——— 東福生

松林ホームシアター

主に子供たちの情操を豊かにする内容の映画を上映した。

期 日 平成4年4月26日(日)～平成5年2月21日(日)

会 場 松林分館

月 日	上 映 作 品	上映時間など	入 場 者
4. 26	母をたずねて三千里①～③	午後3時～ 1回	12人
5. 10	母をたずねて三千里④～⑤	午後3時～ 1回	13人
6. 21	トム・ソーヤの冒険	午後3時～ 1回	12人
7. 6	ガリバー旅行記	午後3時～ 1回	15人
7. 19	アルプスの少女ハイジ	午後3時～ 1回	19人
10. 24	ベルと怪じゅう王子 アルプスの少女ハイジ	午後2時～ 1回 午後2時30分	33人
12. 21	クリスマスファンタジー、ミッキーマウスと魔法の帽子、ムーミン(はばたけペガサス)	午後3時～ 1回	44人
1. 31	ジャングル大帝(約束) くまのプーさん(イーヨのおたんじょう日)	午後3時～ 1回	30人
2. 21	魔女の宅急便	午前9時～ 1回	38人

シネマフェスティバル For Peace

恒久平和のために、子供や一般向けの反戦映画を上映した。

期 日 平成4年8月16日(日)

上映時間	上映作品	入場者
午前10時 ～11時	おこりじぞう おかあちゃんごめんね	15人
午後1時 ～4時	トビウオのぼうやはびょうきです はだしのゲン(パート2)	15人
午後5時 ～6時30分	平和の谷	15人

人形劇公演(松林ホームシアター)

質の高い、生の人形劇を提供し、市民の情操の涵養や市民文化活動発展の一助を目的として実施した。

日時 平成5年3月7日(日) 午後2時～2時45分

会場 松林分館

内容 人形劇団「ひぼたあむ」による
「ふたりのお話」

参加者 77人

松林分館利用者交流会

松林分館利用者の交流をはかり、館と利用者、利用者と利用者の交流が豊かに行なえる様に実施した。

第1回

日時 平成4年5月23日(土) 午前10時～12時

場所 松林分館

内容 ○サークルの情報交換
○公民館運営審議会の報告
○松林分館の事業について
○だれでもなんでも展について

参加者 9人

第2回

日時 平成4年11月7日(土) 午前10時～12時

場 所 松林分館
 内 容 ○平成5年度の予算請求について
 ○だれでもなんでも展の反省について
 参加者 15人

第3回

日 時 平成5年2月27日(土) 午前10時～12時
 場 所 松林分館
 内 容 ○公民館運営審議会委員の選出について
 ○公民館の近況について
 参加者 12人

松林分館利用者交流会学習会

公民館とはどういうものか、公民館のあり方を学習するために行った。

日 時 平成5年3月24日(水) 午前10時～12時
 場 所 松林分館
 内 容 講演 「生涯学習を学ぶとはどういうことか=改めて公民館のあり方を考える=」
 講師 島田 修一氏(中央大学教授)
 参加者 20人

自然観察会

自然の移り変わりを私達の生活との関連で考える機会として実施している。また、社会教育事業の入門的な位置づけとし、だれでも参加しやすいように配慮している。

期 間 1992年(平成4年)6月7日～1993年(平成5年)3月14日 全10回
 会 場 多摩川・滝山丘陵・狭山湖
 参加者 延べ参加者数 187人

日 時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
6. 7	柳 山 公 園	土手と公園の植物	柳山公園付近の植物を見て歩く	宮岡一雄氏
6. 21	かに坂公園	水生昆虫観察	多摩川の水質と昆虫の関係を考える	田中和明氏
9. 5	殿ヶ谷歩道	鳴く虫の観察	秋の夜、鳴く虫を見たり声を聞いたり	栗原 仁氏
10. 11	中 央 公 園	秋の公園の植物	公園の下草を中心に観察	宮岡一雄氏
11. 15	滝 山 丘 陵	秋の林の植物観察	秋の林の下草などを観察	宮岡一雄氏

日 時	会 場	テ ー マ	内 容	講 師
12. 6	柳 山 公 園	初冬の野鳥観察	カモ類の観察を中心に行う	岡田紀夫氏 栗原 仁氏
2. 21	柳 山 公 園	草原の野鳥	多摩川の草原に住む野鳥を観察する	同 上
2. 28	南 公 園	水辺の野鳥	南公園下流の水辺の野鳥の観察	同 上
3. 7	水喰土公園	冬芽の観察	植物の冬越しの状態を観察する	宮岡一雄氏
3. 14	狭 山 湖	広い水面の野鳥	福生では見られない水辺の野鳥観察	岡田紀夫氏 栗原 仁氏

総 括 自然観察会を楽しみに参加してくれる方も増えてきているが、一方、参加者が高齢化しつつあり、若い層にも関心をひろめるような配慮の必要性を感じている。また、野鳥の調査を定期的に行っている層とも今後の内容を検討したい。

中学生 性・友人・進路

今日の中学生の抱えている問題は、友人関係に依存しながらも一生懸命各自の個性を表現しようとしている。また、性の問題は思春期の中学生にとって大変大きな問題であり、同じように高校進学は、自分の意思とは関係なく初めて自分の能力を点数で判断されるため、仲間との競争を迎えている。そのような中学生の現状を分析し、保護者の対応などを考える場として実施した。

期 間 1992年(平成4年)6月25日～7月16日 全4回

会 場 白梅会館

参加者 延べ参加者数 23人

講 師 安達倭雅子氏

日 時	テ ー マ	内 容	講 師
6. 25	中学生の性	性教育の現状と盲点を語り合う	安達倭雅子氏
7. 2	VTRテープの中で	子どもたちはここまで教育され知っている	同 上
7. 9	群れる中学生	抜け駆けを許さない仲間関係と親より重要な仲間	同 上
7. 16	親の役割とは	競争社会の価値観が子どもに負担を強いている	同 上

総 括 中学生を抱える母親が中心に参加した。実際の話になるとそう簡単には解決出来ない問題が多い。しかし、中学生になった子どもが自立していけるかどうかは親の側の問題でもあり、このような機会を数多く開くことによって、個人が抱えているだけではなく大勢の問題として話合える場が必要だと感じた。

白梅親子映画会

幼児から小学校低学年を対象に、ほぼ毎月映画会を開いている。特に自然科学の分野の作品を上映し、身近な自然の仕組みや働きを知る機会としている。

期 間 1992年(平成4年)5月30日～1993年(平成5年)3月13日 全11回

会 場 白梅会館

参加者 延べ参加者数 182人

日 時	会 場	内 容	視 聴 者
5. 30	集会室	ぼくの熊おじさん、気象の原理	26人
6. 20	集会室	太陽を追う少年、目のしくみ、日本の気候と自然の様子	6人
7. 18	集会室	小さなバイキングビッケ、虫さがし	15人
8. 29	集会室	白鳥の王子、ミツバチからのメッセージ	17人
9. 26	集会室	なでしこの花のさくころ	30人
10. 24	集会室	竜の子太郎、地球の自転	10人
11. 21	集会室	小さなバイキングビッケ(ハルバルの宝物)、つみきの冒険	5人
12. 12	集会室	ミッキーマウスの楽しい夢、サンタのおくりもの、ミッキーのメリークリスマス	15人
1. 23	集会室	キャプテン翼	8人
2. 20	集会室	魔女の宅急便	25人
3. 26	集会室	路、かたちのたんけん、前線と天気の変化	25人

総 括 定着しているとはいえ、視聴者が10人以下の時もある。いろいろな条件が重なっているとは思いますが、もう少し視聴者の数が増える方向へ考えていきたい。

ひとにやさしいまちづくり

私達が毎日暮らしている福生の実情を、自然・人間・行政の各方面から詳しく知り、一人ひとりの市民がまちづくりに参加する道をさぐる機会として実施した。

期 間 1992年(平成4年)10月28日～12月18日 全7回

会 場 白梅分館

参加者 延べ参加者数 40人

日 時	会 場	内 容	講 師
1 0. 2 8	白梅会館	ひとにやさしい自然とはどういう自然なのかを学ぶ	宮岡一雄氏
1 1. 5	同 上	雑木林の利用の実態を狭山丘陵の事例から学ぶ	永石文明氏
1 1. 1 1	同 上	五日市の「横沢入」の問題を多角的に捕える	樽 良平氏
1 1. 1 8	同 上	川原の自然をうまく保護・利用するには	川名国男氏
1 1. 2 6	同 上	今までの話を聞いて、参加者同士で感想を話しあう	
1 2. 2	同 上	イギリスのナショナルトラストの実態を聞く	大和田一敏氏
1 2. 9	同 上	「環境教育」の今日的意味とは何か	鈴木 孜氏

総 括 ひとからみた自然の意味と開発する側からみた自然の意味では大きく異なるが、今日ではひとの部分がないがしろにした開発はできなくなっている。市内の自然の残る部分は少なくなってしまったが、だからこそ自然の仕組みや働きを大切に考えられる職員が公園を設計する必要があると感じた。また、公民館などでは環境の問題を広く捕える部分と、接しながら理解していく部分の、両面を広めていく必要があることを感じた。

白梅会館利用者交流会

利用者相互の意見交換や白梅会館の利用上の問題などを話合う機会として実施した。

期 間 1992年(平成4年)8月24日～1993年(平成5年)2月21日 全3回

会 場 白梅会館

参加者 延べ参加者数 63人

日 時	会 場	内 容 な ど
8. 2 4	白梅会館	利用上の問題点を出し合ったり、他のサークルとの情報交換など
1 2. 2 5	白梅会館	利用者による「おおそうじ」のあと、日常の意見交換など
2. 2 1	白梅会館	利用上の問題点を出し合ったり、他のサークルとの情報交換など

総 括 定期的に実施してほしいという意見が多くなってきたので、来年度はもう少し回数を多く開くようにしたい。

白梅会館利用者研修会

白梅会館開館以来ずっと利用している団体もあるが、最近利用を始めた団体もある。そして、各自にとっての生涯学習の機会と場を保障された公民館。本来の役割やこれからの利用について

考え合う場として実施した。

日 時 1993年(平成5年)3月30日

会 場 白梅会館

参加者 16人

日 時	会 場	内 容	講 師
3. 30	白梅会館	新しい公民館利用のノウハウを、みんなで話し合った	重本弘子氏

利用者発表会実行委員会

期 間 1992年(平成4年)4月6日～5月8日 全5回

会 場 白梅会館

参加者 延べ参加者数 87人

白梅会館を利用している人達が、自らの活動の様子を発表する機会として毎年行っている。
この実行委員会を通して、他のサークルの人との交流や催し物のジョイントといったことが生まれ、新たな交流の機会となっている。

日 時	会 場	内 容
4. 6	白梅会館	主に展示のサークル対象に、部屋の利用についての方法など話し合った
4. 8	白梅会館	主に演示のサークルを対象に、出演順序や各自の役割などの決定
4. 15	白梅会館	全体的な進行状況の確認、各サークルの役割確認
5. 8	白梅会館	進行状況の確認、ポスター、印刷物などの配付や当日の準備などの確認
5. 27	白梅会館	発表会を振り返る会。各自の感想や次回に向けての反省などを話し合った

第11回白梅会館利用者発表会

5月23日(土) 入場者数 220人

展示のひろば 午前10時～午後5時まで

パッチワーク・生け花・ちぎり絵・簾細工・陶芸・手描き染め

お茶席 午後1時～午後4時まで

親と子のひろば 午後2時～午後4時まで

ゲームや金魚すくいなど

5月24日(日) 入場者数 230人

展示のひろば 午前10時～午後4時まで
 語らい茶屋 午前10時～正午
 演示のひろば 正午～午後3時30分
 民謡・民謡・詩吟・三味線・パネルシアター・コーラス・社交ダンス
 模 擬 店 午前10時～午後
 クッキー、綿菓子、竹とんぼ

白梅分館10周年記念陶壁作成

利用者の参加による陶壁作りで、素焼き、本焼き、張り付けと、市民参加で行った。

期 間 1992年(平成4年)5月30日～1993年(平成5年)3月30日 全20回

会 場 白梅会館

参加者 延べ参加者数 78人

日 時	内 容
5. 30	タイルの形成
6. 5	タイルの形成
6. 6	タイルの形成
6. 7	本焼き(周辺部分)
6. 8	かま出し
7. 5	本焼き(周辺部分)
7. 6	かま出し
1. 6	素焼き
1. 7	釉薬つけ・かま入れ
1. 8	本焼き(花部分)
1. 9	かま出し・釉薬つけ
1. 21	本焼き・釉薬つけ
3. 10	本焼き(花部分)
3. 11	かま出し
3. 16	作品を壁面に張り付け作業するために、足場を組みあげる
3. 18	作品を図面にしたがって壁面に張り付け作業を開始
3. 23	作品の張り付け作業
3. 24	作品の張り付け作業
3. 26	作品の張り付け作業
3. 30	作品の張り付け作業・ほぼ完成

家庭新聞をつくる

家庭内外の交流が少なくなっている今日、家族で発行する家族新聞に関心が高くなってきている。新しいコミュニケーションの手段として考えられるので、今回はその概略を知る機会として実施した。

期 間 1993年(平成5年)3月9日(火) 1回

会 場 白梅会館

参加者 3人

講 師 竹縄良一氏

日 時	テ ー マ	内 容	講 師
3. 9	家族新聞って？	家族新聞の概略の説明と具体的な作り方の説明	竹縄 良一氏

総 括 準備不足だったか日程が悪かったのかどうか分からないが、参加者が集まらなかった。
しかし、内容的にはおもしろいので次回もう少し考えたい。

(7) 高齢者

『寿市民ひろば』

人生80年時代を迎え、①“高齢期を社会の一員（担い手）として元気に生きるまち福生”を目指し、②高齢期の生活づくり・社会参加にむけて活動する市民グループを軸に、地区福寿会やシルバー人材センター会員はじめ多数の高齢者市民の学習文化活動への参加の機会とし、③市行政、教育・福祉部門の連携により次のように各種事業を開催した。

寿市民ひろば実行委員会

“寿市民ひろば”事業企画・実施にむけ、高齢者市民の参加及び行政各分野職員との合同で実行委員会を開催した。

期 間 平成4年5月20日(水)～11月16日(月) 全5回

会 場 公民館

参加者 30人×5回＝150人

回	月	日	内 容
1	4.	5. 20	第1回実行委員会 最近の活動交歓、今回の計画について
2		6. 29	第2回実行委員会 各コース設定、広報・PRについて
3		7. 15	第3回実行委員会 各コース計画決定、運営分担について
4		8. 19	第4回実行委員会 全事業パンフ作・配布、内容・進行確認
5		11. 16	第5回実行委員会 コース進行状況、歌い語りの集い企画

実行委員構成：市民グループ、公民館、社会教育、福祉部、シルバー人材、社協かく職員。

“寿”講演会

期 間 平成4年9月26日(土)～11月21日(土) 全4回

会 場 公民館

参加者 50人×4回＝200人

回	月	日	演 題	講 師
1	4.	9. 26	今「環境教育の重要性」について	宮岡一雄氏（明大教授）
2		10. 10	映画上映と講演「友達のいる孤独」	稲木 淳氏（監督・脚本）
3		10. 24	まちの移り変わりと文化活動	山崎茂男氏（珠算学校長）
4		11. 21	福生の教育と中学生海外派遣から	来住野和也福生市教育長

寿ひろば

公民館の日常な高齢者活動の場として、また各種の総合活動を通して、高齢期の生活・仲間づくりの機会として実施した。

期 間 平成4年9月12日(土)～12月14日(月) 全10回

会 場 公民館

参加者 35人×10回=350人

回	月 日	内 容	備 考
1	9. 12	自己紹介・ひろばの進め方	話し合い
2	1 9	わたしたちの人生の歩み	〃
3	2 6	“寿うたおう会” ①	ピアニスト 山下やよい氏
4	10. 3	堂川端“永田・長沢”見て歩き	紹介案内 立川愛雄氏
5	1 7	かつて福生「福生村堂川端物語」より	著 者 森田七郎氏
6	2 4	“寿うたおう会” ②	ピアニスト 山下やよい氏
7	11. 14	探訪川越 旧日本の街並み再発見	視察研修バスツアー
8	2 1	懐かしの名画「ペテン師物語り」	VTR名画上映
9	12. 5	“寿うたおう会” ③	ピアニスト 山下やよい氏
10	1 4	忘年会 この1年と当事業を振り返り	懇親と話し合い

*以後公民館本館にて自主活動 継続。

人生うたい語りの集い

『寿市民ひろば』のフィナーレを飾り、実施各コースの参加者の出演で“意見発表の機会”

“人生を綴る歌のメドレー”及び“アトラクション”等を発表。より多くの市民にその成果を見て戴き、事業まとめの催しとして実施した。

開 催 日	内 容	参加者会場
11. 28 (土) 午後1時30分～4時	日本の春夏秋冬12曲メドレー、人生私の意見10人 アトラクション 市在住作詞家：橋本まさる作品披露	小ホール 180人

高齢者活動リーダー研修会

社会の一員(担い手)として楽しく元気に生きる高齢者活動としていくためには、リーダーの育成が要。そこで今年から新たにリーダー研修会の機会を設け以下のように実施した。

期 間 平成5年3月2日(火)～3月16日(火) 全3回

会 場 公民館

参加者 35人×3回=105人

回	月 日	内 容	備 考
1	3. 2	カウンセリング入門	中村泰章氏(日本更生保護協会)
2	9	ふっさのボランティア活動	福生市社協ボランティアコーナー職員
3	16	データを読む・日本の高齢化	古谷野亘氏(都老人総合研究所社会学室長)

高齢者ワープロ教室Ⅰ

なかなか接する機会のなかったワープロに挑戦し、その基礎を学ぶ。

期 間 平成4年6月17日(水)～6月22日(月) 全5回

会 場 公民館本館

内 容 東芝ルボ80Fを使い、ワープロの基本を学ぶ

参加者 10人×5回=50人

講 師 システム情報館インストラクター

高齢者ワープロ教室Ⅱ

なかなか接する機会のなかったワープロに挑戦し、その基礎を学ぶ。

期 間 平成4年10月14日(水)～10月22日(木) 全5回

会 場 公民館本館

内 容 東芝ルボ95F等を使い、ワープロの基本を学ぶ

参加者 5人×5回=25人

講座「自分史を書く」

自分の人生をふりかえり、その断片を書きあうことを通して、高齢者が地域で書き合う関係をつくることを目的に実施した。

期 間 平成4年10月1日(木)～12月10日(木) 午前10時～12時 全10回

会 場 公民館本館

参加者 12人×10回=120人

月 日	テ ー マ ・ 内 容	講 師
1 0. 1	オリエンテーション・自分史とは	武 田 秀 夫 氏 (私 塾 主 宰)
8	文章を読む～漱石の作品から	
1 5	〃	
2 2	〃	
2 9	〃	
1 1. 1 2	〃	
1 9	文 章 を 書 く	
2 6	〃	
1 2. 3	〃	
1 0	文章づくり・まとめ	

さつきひろば

“高齢期を楽しく元気に生きるまち福生”を目指した講座『寿市民ひろば』の一環として、松林分館では『さつきひろば』の名称で行った。

期 間 平成4年9月10日(木)～11月26日(木) 午前10時～12時 全11回

11月4日については午前9時～午後5時

会 場 松林分館等

参加者 36人×11回＝396人

月 日	内 容	講 師
9. 1 0	内容紹介、自己紹介、作陶	島 田 京 子 氏
1 7	作 陶	〃
1 0. 1	〃	〃
8	牛浜駅周辺地区の散策	立 川 愛 雄 氏
1 5	福生の歴史について	〃
2 9	健康について	村 野 栄 子 氏
1 1. 4	バス見学(昇仙峡)	
1 2	作 陶	島 田 京 子 氏
1 9	〃	〃
2 0	〃	〃
2 6	作陶についての反省会	〃

白梅熟年ひろば

期 間 平成4年9月18日(金)～平成5年1月8日(金)

会 場 白梅会館

参加者 全11回＝延べ340人

回	月 日	内 容	講 師
1	9月18日	自己紹介等 オリエンテーション	
2	9月25日	施設見学 西多摩衛生組合 福生市リサイクルセンター	西多摩衛生組合職員 福生市清掃課職員
3	10月 2日	もうけ話の落とし穴	東京都消費者センター 普及啓発員
4	10月 9日	訪問販売の実態	
5	10月16日	福生の歴史講話 熊川の歴史について	高崎 勇 作 氏
6	10月23日	川越市史について	立 川 愛 雄 氏
7	10月30日	川越史跡巡り	立 川 愛 雄 氏 (川越市シルバー人材 センター職員)
8	11月 6日	保健食品の販売と契約 (悪質商法などの現況)	東京都消費者センター 普及啓発員
9	11月13日	健康と食生活について	福生保健所職員 (栄養士、保健婦)
10	11月20日	健康な身体を維持するには	吉 野 チ ェ 先生
11	5年 1月 8日	青梅市の史跡巡り	立 川 愛 雄 氏

人生を唄おう会

期 間 平成4年9月21日(月)～平成4年11月28日(土)

会 場 白梅会館

参加者 全10回＝延べ350人

回	月 日	内 容	摘 要
1	9月21日	自己紹介等 オリエンテーション	ピアノ及び 歌唱指導 山 下 やよい 先 生
2	9月28日	発 声 練 習 (リズム練習、合唱練習)	
3	10月 5日		
4	10月19日		
5	11月 2日	文化祭「音楽のひろば」出演の練習	
6	11月 7日	市民文化祭「音楽のひろば」出演の練習	
7	11月 8日	市民文化祭「音楽のひろば」出演	
8	11月16日	コ ー ラ ス 練 習	
9	11月23日	最 終 練 習	
10	11月28日	「人生うたい語りの集い」出演	

6. 市民会館主催事業

(1) 催し物

公 演 名	実 施 日	入場料金	入場者数	出 演 者
加藤登記子コンサート	9月20日(日)	4,500円	680人	加 藤 登記子
文学座公演 『その先は知らず』	12月19日(土)	4,000円	930人	杉 村 春 子 北 村 和 雄 他
桂 枝 雀 独 演 会	2月23日(火)	2,000円	510人	桂 枝 雀
ふっさ春の第九演奏会	3月19日(金)	2,500円	898人	指揮 手塚 幸紀 管弦楽 新日本フィルハーモニー 交響楽団 合唱 ふっさ「第九」市民合唱団 ソリスト 前澤悦子・大橋ゆり 藤原章雄・松本 進

会場・市民会館大ホール

(2) 市民名画劇場

上 映 作 品	上 映 日	上映回数及び入場者数
ボリスアカデミー 5	5月23日(土)	2 回 76人
バック・トゥ・ザ・フューチャー 3	7月18日(土)	2 回 208人
ロビン・フッド	8月22日(土)	2 回 261人
ラビリンス 魔王の迷宮	9月12日(土)	2 回 124人
タクシー・ドライバー	10月24日(土)	2 回 116人
男はつらいよ・寅次郎の休日	11月14日(土)	2 回 146人
レナードの朝	12月12日(土)	2 回 144人
波止場	1月30日(土)	2 回 110人
釣りバカ日誌 3	3月13日(土)	2 回 112人

会場・市民会館小ホール